

昨今の社会情勢による物価高騰や経済環境の変化に伴い、生きづらさや孤独・孤立を感じる方、生活に困難を抱える方からの相談が増加し、地域福祉をめぐる課題は、ますます複雑・多様化、深刻化しています。これらの福祉・生活課題に対し、関係機関と連携・協働しながら解決に努めるため、令和7年度において当会では、次のことについて重点的に取り組みました。

1つ目は「権利擁護支援と生活支援の強化」です。将来への不安を抱えるひとり暮らし高齢者や「8050問題」を抱える世帯からの相談が増加する中、関係機関と連携し公的制度に繋ぐとともに、権利擁護の観点から「成年後見制度」の普及・啓発に取り組みました。

2つ目は「支え合いの地域づくり」です。孤立・孤独を防ぐため、民生児童委員のご協力のもと、ひとり暮らし高齢者を対象とした集まりの場を設けました。また、生活支援コーディネーターが地域の集まりに参加し、地域や個人が抱える課題の把握に努めるとともに、地域の活動者の交流会を開催し、自主的な支え合い活動の活性化に取り組みました。

3つ目は「防災への取り組み」です。災害時に迅速かつ円滑な支援が行えるよう、有田ライオンズクラブ及び有田青年会議所と災害時における協力体制に関する協定を締結しました。さらに、有田地方社協連絡協議会を通じ「介護業務災害相互支援協定」を結び、介護に関する広域的な協力体制を強化しました。また、小学生向けの夏休み防災学習や住民を対象としたボランティア養成講座を開催し、災害ボランティア活動への理解と参加促進に努めました。

本会の事業運営に際し、温かいご支援・ご協力を賜りました皆さまに心より感謝申し上げます。

自立を支える環境づくり

有田川町社会福祉大会

【町長表彰】21名、【会長表彰】37名、【会長感謝】11名・9団体
【参加者】188名

多年にわたり社会福祉の発展・向上に貢献された方々の功績をたたえとともに、地域社会全体で福祉の重要性を再確認する機会となるよう、全国コミュニティライフサポートセンター理事長池田昌弘氏による記念講演を開催しました。

生活支援体制整備事業

【サロン・運動訪問回数】44カ所・75回

生活支援コーディネーターが地域の集まりやサロンを訪問し、地域の皆さんから日頃の困りごとや支え合い活動、地域の状況について話を伺いました。また、サロン活動者同士が交流できる機会を設け、情報交換やつながりを深めることで、地域で支え合う活動の広がりを後押ししました。



資金貸付事業 【生活困窮者相談件数】90 件

食料等確保支援事業 【支援回数】46 回

生活困窮に関する悩みごとや困りごとを抱えている方に、資金の貸付や食料支援を行いました。食料や日用品のほか、モバイルバッテリー・熱中症対策用品等も新たに整備し、多様化する困窮状況に即した支援物資の充実を図りました。

今後、安定的な食料の確保と住民が身近な社会貢献活動に参加できる機会の仕組みづくりを推進していきます。



安心・安全な仕組みづくり

権利擁護センター事業 【相談件数】195 件

住民の皆さまからの相談に応じ、必要な制度利用につながるようサポートを行いました。

また、成年後見制度など権利擁護に関する理解促進のため、広報紙やイベントによる周知・啓発に加え、専門職向けの研修会を実施しました。



地域まるっと見守り事業 【協力事業所】27か所

“ふだんのくらしの中でゆるやかに行う見守り活動”として活動の趣旨に賛同された社会福祉法人等が「見守り協力事業所」として車両や店舗にステッカーを貼付し、無理のない範囲で地域の見守り活動を行いました。新たに7事業所がこの取り組みに賛同されました。



福祉機器貸出事業



【年間貸出延べ件数】車いす:125 件、ベッド 34 件 他

病气やケガ、また退院後の自宅での生活に必要な福祉機器を無料で貸し出しました。

介護保険事業・障害福祉サービス事業

高齢者や障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、訪問介護や通所介護、訪問入浴等のサービスを提供しました。また、居宅介護支援や計画相談支援を通じて、介護に関する相談にも常時対応しています。今年度も感染症対策の徹底と環境整備に努め、安心・安全なサービスの提供に取り組みました。

支えあいのまちづくり

ボランティア養成講座 【受講者】70 名

大規模自然災害に備えるため、地域の防災意識を高めるとともに、災害ボランティアへの理解と登録促進、担い手の育成を目的として、「防災落語×減災セミナー」を開催しました。



サマーボランティア体験

【参加者】93 名

夏休みを利用して町内の小中学生が「ボランティア」を身近に感じてもらえるよう13種類の体験の場を設け、それぞれが興味や関心ある活動を選んで参加してもらいました。



クリーン有田川運動

誰でも気軽に参加できるボランティアの機会としてクリーン有田川運動への参加を呼びかけ、地域の企業や団体と協働し、吉備地域の有田川周辺を重点的に清掃しました。



【参加人数】約360名
【収集ゴミ】650kg



ふれあいの場所づくり

在宅介護者支援事業(リフレッシュ事業)

【参加者】34 名

在宅でご家族を介護されている方や介護に関心のある方を対象に、介護に関する研修を行い、心身のリフレッシュと介護者同士の交流を深める機会を提供しました。



居場所づくり事業 【開催回数】11 回

子どもの安全な居場所と保護者同士の交流を目的に、今年度5月より開催場所をきび保健福祉センターに移動し、毎月第2土曜日に「田殿ベース ふらっと」を開催しました。

